

食機能と食形態の対応

～試食(フードスタディ)をしましょう～

嚥下調整食(嚥下食/食形態)は、見た目が良い・美味しいだけではなく、対象者の食べ方に対応させる必要があります。具体的には、対象者の①食べ物を飲み込みやすい形に整える力(食塊形成)、②口やのどでまとめ散らばらないように維持する力(集積力)、③強く飲み込む力(駆出力)、④タイミングよく気道を閉鎖・食道の入口を開通する(嚥下と呼吸の切替力)など。これらに合わせ食事を提供する必要があります。本講演では、参加者に実際に市販のサンプルを召し上がっていただき、嚥下調整食を判定いただきます。後半には、

ケーススタディも準備しました。
牧野日和の「明日から活かせる」にこだわった講演をお楽しみください。



牧野 日和 氏

愛知学院大学 教授・博士(歯学) /
言語聴覚士 / 日本心理学会認定心理士
/ 日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士
摂食嚥下障害領域 / 日本摂食嚥下リハ
ビリテーション学会認定士

2024年

11月17日(日)

14:00～16:00

定員: 40名/参加費: 無料

びわこ学園医療福祉センター野洲

地域交流スペース会議室

滋賀県野洲市北桜978-2/駐車場あります

締切り11/12(火)

お申込みはこちらのフォームよりお願いします

<https://forms.gle/ZjMA6srmTTz6oW3Y7> JR野洲駅13:30発の送迎便あります※要予約



*申込後、確認のメールが届きます。メールが届かない場合や
ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

TEL: 077-587-1144 FAX: 077-587-4211

E-mail: yasu_koryu@biwakogakuen.or.jp

びわこ学園医療福祉センター野洲 (担当: 葛籠/つづら)